



Good News for Japan

ときのこと

女傑の流した涙 — 広岡浅子のその後



広岡浅子が祈りに集中するために過ごした軽井沢の三井三郎助別荘 (写真及び資料・日本女子大学成瀬記念館提供)

その後の浅子

朝の連続テレビ小説「あさが来た」の主人公のモデルとなった、広岡浅子の生き方は、多くの人の心を捕らえました。すべてに前向きに取り組んだ彼女の姿に心躍る思いをされた方も多いことでしょう。

そんな彼女も、自分の人生を後ろ向きにじっと見つめる経験をしました。それは、浅子が、六十歳を過ぎた頃のことでした。

時代の精神

広岡浅子は、一八四九年に京都の三井家に生まれ、十七歳で大阪の豪商・加島屋に嫁ぎました。江戸時代の旧家に生まれた女性には、今日の女性には想像もできない程の抑圧がありました。そんな時代を大きく揺り動かしたのが、一八五三年、黒船に乗って西欧から到来した、新しい時代の精神でした。異なる精神に衝撃を受けた幕末の志士たちは、

謹んで被災された方々にお見舞いを申し上げます。一日も早い心の平安の回復と、被災地の復興をお祈り申し上げます。

古い時代の精神を打ち破る戦いを始め、明治維新が起きたのです。

古い時代の精神が、新しい時代の精神とぶつかり合う転換期、浅子もまた生来の好奇心をもって「常識」を疑い、新しい女性の生き方を追求したのでした。そして、驚くべき行動力を発揮して、炭鉱、銀行、女子大学、社会活動へと手を広げていきました。

永遠普遍なもの

物事をきちんと見極め、大局的な判断をしていくためには、時代の狭間で揺れ動く精神ではなく、永遠普遍なものが必要となります。六十歳になった頃、浅子は乳ガンを患い、死を覚悟



心霊の修養の必要を記した文書 (『家庭』第二卷十一号)

します。しかし、麻酔で意識を失う間、浅子は、偉大な力を感じたのでした。そして、自分の命は、なんらかの使命のために天的なものに貸してもらっているものである、との実感の中で、「神」に憧れを抱くようになったのです。

天来の福音

ちょうどその経験をした年の暮れ、浅子は、大阪知事宅で、成瀬仁蔵(日本女子大学創設者)、大阪基督教会(現日本基督教会・大阪教会)の牧師宮川経輝と同席します。その際、浅子と言い争いになった成瀬仁蔵は、宮川に浅子の教育を託したのでした。浅子も、ちょうど女性の教育のためには、外側の知識だけではなく、自らの修養することが大切だと感じていた時だったので、宮川に教えるを乞うことになりました。

宮川から学ぶうち、浅子は、自分の傲慢さを自覚しました。今までの生涯が恥ずかしくも、ばからしくも思え、悔い改めの思いに満ちました。

(次ページ一段目に続く)

たされたのでした。

そして、傲慢さを打ち砕かれた浅子の心に、聖書の言葉の一つひとつが「天来の福音」として響きました。また、浅子のために骨折る、牧師宮川経輝の熱心な姿勢や真実な祈りの姿にも心打たれていました。

真実の祈り



宮川との学びも回を重ね、教会にも通うようになった浅子でしたが、いざ祈ろうとしても雑念が心に溢れて祈れない、との悩みをもつようになりました。そして、「真実の祈りができないが、どうしたら祈れるでしょうか？」

『聖潔の葉』



「子どもがお父さんに甘えるように祈ればよい」と勧められましたが、家族にさえ甘えてこなかった浅子には、どうやって甘えればいいのかわかりませんでした。

悩みを抱えたまま翌年の夏を迎え、あるキリスト教の集まりに参加した時のことです。浅子は、そこで初めて、山室軍平に会いまして、祈りについての悩みを軍平に話したところ、軍平は、聖書と、『聖潔の葉』



今も読み継がれている『聖潔の葉』(救世軍出版供給部刊・初版 1902 年。写真は、2015 年改訂新版)

を手渡し、こう勧めたのでした。

「理屈を捨ててそれらの書物を読んで読んで祈りに祈ったら、必ず応答があるようになりましょう。」

一九一一年(明治 44 年)のことでした。浅子は手元に聖書と『聖潔の葉』を置いて、軽井沢の別荘で祈りの日々を開始しました。

溢れる涙



聖潔の経験は、この時、浅子の身にも訪れました。聖書と『聖潔の葉』を読んでは祈る日々を続けたある朝、浅子は「超然として絶対の神に触れ」涙がとめどなく流れる経験をします。

「親と別れても、夫に死なれてもかつて涙一滴落とさず、われながら剛情にあきれざるを得ない私が初めて感涙を催さざるを得なかったのは、実に不思議で、宇宙には神在すという感はこの時から取り去ることができないものとなりました」とその時のことを振り返っています。

それ以来、軽井沢で豊かな祈りの時を過ごした浅子。けれども、浅子が得意とする囲碁を弟と打った翌朝から、十分に祈れなくなりまして。

秋になり、東京で山室に再会した浅子は、そのことを相談しました。すると山室は、年長の浅子に向かって、はつきりとしたように言ったのです。

「それはあなたが罪を犯したからです。私は、碁を打つことが罪かどうか知りません。しかし、少なくともあなたの場合には罪だと

思います。今のあなたはあらん限りの時間と精力を用いて神を求め、他人に善をなすべきなのに、それを忘れて碁を打ち、神と交わるのを怠るようなことでどうなりますか。神があなたに求めておられる最も良い生涯に入りそこなつておられるのではないのでしょうか。」

浅子はその言葉を素直に受け入れ、すぐに山室のほか数人と跪いて祈ると、再び涙が滂のように流れ、神の慈愛の御手にしっかりと抱かれる思いを経験することができたのでした。

その経験の直後から、浅子は病のため床に臥しましたが、これは、古い自分を十字架に釘づけ、キリストによって新しく生まれたい機会であると受け止めます。休息の間、聖書、様々な説教集、救世軍の創立者であるウイリアム・ブースの伝記等を読み漁りました。

そして、身体も回復したその年のクリスマス、礼拝



成瀬記念館。広岡浅子に関する資料も所蔵。建学の精神を伝えている。(日本女子大学内・編集部撮影)

恩寵の中に



浅子は一九一九(大正 8)年七十一歳で召天します。その人生の最後の数年間、神様の愛と恩寵の中に生きる経験をしたのでした。

ある時、浅子は、キリストチャンでない時にも、神は様々な困難や苦しみ、誘惑から守ってくださっていた、と次の聖書の一節に、自分の人生を重ねます。

「天の父はその日を善者にも悪者にも照らし、雨を義き者にも義からざる者にも降せ給えり。」(マタイによる福音書 5 章 45 節 文語訳聖書)

神に逆らい、キリストを否定するような人間にも、神の「御恩寵」は豊かにあり、自分の人生は、その摂理の内にあつた、と思ひ至つたのでした。また、もし強情にも神に逆らい続けたなら

ば、たとえ物質的には豊かにされても、「自分の魂は死の陰に陥り行つた」であろう、と記しています。

キリストチャンとなつた浅子は、自分の信仰について記す文章を多く表しました。それは、自分自身が、神に対して、キリストによって悔い改めることができた幸いと、神の子として生きる光栄とを深く味わっていたからでした。

神の前に流した涙によって、浅子は、その人生の終わりに、永遠の輝きをもつ朝を迎えることができまして。そんな彼女の晩年の言葉の一つひとつは、古い価値観と新しい価値観の狭間にある現代にも、わたしたちの生き方に対して、強い輝きを放っているのではないのでしょうか。

(参考文献) 広岡浅子著「人を恐れず天を仰いで―復刊―」週一信(新教出版社刊・二〇一五年発行)、秋元巳太郎著「山室軍平の生涯」(救世軍出版供給部刊)

(次ページ五段目に続く)



明治 39 年竣工の成瀬記念講堂 (日本女子大学内・編集部撮影)

〔聖書からのメッセージ〕

最上の幸福

勝地 佳子



新緑の美しい、爽やかな五月を迎えました。五月は「こどもの日」や「母の日」など、親と子の関係・家族の結びつきを考える機会が多い月です。

私の両親はすでに天に召されましたが、若き日にクリスチャンとなつて、救世軍の名古屋小隊(教会に属する)に属し、私たち子どもを育ててくれました。両親の信仰と祈りによって今日の私があることを思い、両親を与えてくださった神様に、心から感謝しています。

さて、新約聖書に、次のように書かれています。「子供たち、主に結ばれている者として両親に従いなさい。……『父と母を敬いなさい。……父親たち、子供を怒らせはなりません。主がしつけ諭されるように、育てなさい。』(エフエソの信徒への手紙 6 章 1~4 節)

これは、旧約聖書の十戒の中の第一戒

「あなたの父母を敬え」

(出エジプト記 20 章 12 節)

を基にしています。神様が人間関係に求められた、守るべき大切なことの第一番目が、このことでした。聖書は、子が親を敬い、親が子を愛して育てることこそが、最上の幸福である、と教示しています。

しかし、現実には、肉親同士の悲しいニュースが後を絶ちません。虐待、育児放棄、介護放棄、家庭内暴力、殺人等々。本当に心が痛みます。

「わたしは自分の望む善は行わず、望まない悪を行つてゐる。もし、わたしが望まないことをしているとするれば、それをしてゐるのは……わたしのの中に住んでゐる罪なのです。……わたしはなんと惨めな人間なのでしょう

う。……だれがわたしを救つてくれるでしょう

か」(ローマの信徒への手紙 7 章 19、20、24 節)

と聖書は記しています。いやつてしまひ、後悔にさいなまれる—自分の心の中にある罪を解決しなければ、私たちは、この惨めな状態から抜け出すことはできません。

日本人で最初に救世軍の士官(伝道者)となつた山室軍平の妻機恵子は、「幸福はただ十字架の傍らにあり」と言いました。十字架—それは、イエス・キリストが架けられた、死刑の道具の十字架を指します。

神様の独り子イエス・キリストは、人間の罪を解決する(赦す)ため—私たちを惨めな状態から救うために、救い主としてこの世においでになり、私たちの身代わ

りとなつて十字架につけられ、死んでくださいました。そして、罪とその結果である死を打ち破つて、三日目に復活されました。「十字架の傍ら」とは、イエス・キリストの死と復活は自分のためである、と信じる人生のことです。心の中の罪が赦され、全く新しくされて生きる時に、お金や物、地位や名誉などを追い求めることでは得られない、本当の幸福を味わうことができます。

親と子の関係・家族の結びつきは社会の基本ではないでしょうか。神様が示された最上の幸福を得るために、あなたも十字架の傍らにおいてになりませんか。

(救世軍士官(伝道者))



(前ページより)



(明治 40 年当時)

※山室軍平(一八七二—一九四〇)一八九五(明治 28)年、英国の救世軍から、数人の士官(伝道者)が、日本に派遣され

た。間もなく石井十次の紹介で救世軍を訪ねた山室軍平は、救世軍に身を投じ、訓練を受けた後、翌年、日本人初の士官となった。後に、日本の救世軍の司令官(最高責任者)となる。広岡浅子にも信仰的な助言を与えた。現在、山室軍平の生涯を描いた映画の制作が進んでいる。



資料・日本女子大学成瀬記念館提供

- 成瀬仁蔵宛ての浅子の手紙の一部(右)。同志社の入学式に参列した印象を記している。「真実に宗教の極致を論究する輩ハ雨夜の星の如き」との言葉が見られる。
- 広岡浅子の告別式次第(左)。聖書朗読と祈祷の役目を山室軍平が負った。
- 広岡浅子語録：宮川経輝、牧師 牧野虎次(元同志社総長)、山室を家に招いた浅子。その際、「万一山室さんが先に死なれたら、牧野さんが救世軍を引き受け、牧野さんが先に逝かれたら、山室さんが組合教会を引き受けられたら、お互いに愛いがないでしょう。宮川牧師にその証人になっていただきたい」と提案した。(山室武甫著『民衆の友 山室軍平』 牧野虎次 序文より)

クリトリ

ご住所

ご氏名

□私の近くの救世軍を紹介してください。

□キリスト教についてもっと知りたいです。

□「ときのかえ」の購読を申し込みます。

裏
この部分を封書か葉書に貼り、面下の救世軍にお送りください。

創立者 ウィリアム・ブリス 大将 アンドレ・コックス(万国本営 英国ロンドン) 日本司令官 勝地 次郎(救世軍本営 東京都千代田区) <http://www.salvationarmy.or.jp>



世界をみつめて

〈フィジー〉フィジー史上最大級のサイクロン(続)



2月にフィジーを襲った超大型サイクロン「ウィンストン」の被害は甚大で、現在も復興の途上にあります。救世軍は、43年前からフィジーで活動しており、支援活動も迅速に進められています。多くの人々が、被害のショックとトラウマの中にあるにもかかわらず、救世軍の支援活動を積極的に助け、散在する島々において、避難所の提供、食事や飲料水、防水シート、衣料品等の配布がなされています。救世軍の若いメンバーは、被災した家の掃除や修復の手伝いもしています。



多くの学校が被災したため、子どもたちの心のケアも重要な働きです。学校が再開する前には100人の子どもたちに対して、楽しいプログラムを提供しました。救世軍の士官(伝道者)は、皆トラウマに対するカウンセリングの教育を受けており、学校が再開した現在、災害のショックで学校に来ることがむずかしくなっている子どもたちのサポートもしています。

4月に入り、フィジーは新たに大きな嵐に見舞われました。

2月のサイクロンがあまりに強大だったため、嵐の到来に多くの人が心のバランスを崩し、支援品が水に浸かる、仮設の避難所が被害を受ける、などの厳しい状況が続いています。

〈全世界〉国連女性の地位委員会に参加

3月14～24日、ニューヨークの国連本部で第60回国連女性の地位委員会(以下CSW)が開催されました。全世界から2万人以上の参加者が集い、救世軍からも20人の代表が参加しました。CSWでは、政治・市民・社会・教育分野等における女性の地位向上と平等に関する、勧告・報告・提案等を国連経済社会理事会に対しておこない、それを受けて、国連総会で、勧告がなされます。今年のテーマは、「女性のエンパワーメント(本来もっている力を自律的に生かして行動できるようにすること)と持続可能な開発の関連性」。全体で700以上の会合が開かれましたが、救世軍はその内の105の会合の責任をもち、国連本部前に位置する救世軍万国社会正義委員会の建物で開催しました。性暴力や、女性の健康、人身取引(売買)、女性の法的権利、収入の平等化、地球の気候変動の影響、女性と子どもに関する人道の危機など、不平等と、不正義に対する現状が話し合われました。



救世軍からの参加者



教育・性の平等・清潔な水など、16の課題を共有した

救世軍とは

The Salvation Army

イギリス・ロンドンに本部を置き、世界百二十七の国と地域で活動する国際的なキリスト教会(プロテスタント)です。特色は、●物心両面から人の必要に応じて神の愛を伝える、●働きを迅速に効率よく進めるため軍隊流の組織をとる、●伝道者や信徒は制服を着用する、●どんな人も、神を信じるなら即座に救われ、きよい生活を送ることができると信じる、●ブラスバンドが盛んで伝道や礼拝の場でも用する、●一八六五年の創立時からアルコールで苦しむ人の支援をしているため、信徒は酒類を摂らない、です。救世軍が活動している国と地域、どこにおいても、地震などの自然災害の被災者に対する支援・復興支援、街頭生活者への支援などをおこなっています。また、国際規模で、大災害の被災者や地域の支援開発途上国での教育、医療、自立支援、人身取引(売買)阻止などの活動もしています。日本での働きは、一八九五(明治28)年に始まり、娼婦運動の推進、女性や子供の保護、結核療養所開設など、社会福祉事業、医療事業におけるパイオニア的な役割を担ってきました。現在は、四十三の小隊(教会にあたる)と十二の分隊(伝道所にあたる)、十九の社会福祉施設、二つの病院(ホスピス併設)を通して働きを進めています。

社会鍋募金へのご協力を感謝いたします!

昨年12月も、社会鍋募金にたくさんの方々からご協力をいただきました。心からの感謝とともに、結果をご報告いたします。

北海道地区	836,369
関東東北地区	1,068,957
東京・神奈川地区	12,935,490
東海地区	599,743
関西四国地区	2,050,825
中国九州地区	1,082,828
合計	18,574,212

(2016年3月31日現在)

寄付金は、各地の救世軍を通して様々な支援活動に用いさせていただいております。

(取扱支部)

救世軍は、統一協会、エホバの証人、モルモン教ではありません。これらの問題でお悩みの方は、右救世軍にご相談ください。

発行日及び定価
発行日 毎月一日・十五日
定価 一日号一部四〇円(〒六〇円) 十五日号一部六〇円(〒六〇円) クリスマス特集号(十二月一日号)一部一〇〇円(〒七〇円) 一年分二六〇円(送料七五〇円) 振替・〇〇一八〇五四四〇〇

発行兼印刷人 救世軍 代表者 勝地 次郎 齋藤 恵子 編集人 齋藤 恵子 〒101-0051 東京都千代田区 神田神保町二丁目 電話 東京(03)三三七〇八八一

発行所 救世軍本営 印刷所 図書印刷株式会社

世界の救世軍の指導者 アンドレ・コックス大将を迎えておこなわれる 2016 救世軍全国大会

- ◆救世軍チャリティーコンサート 10月21日(金) 18:30 東京オペラシティ コンサートホール (東京:初台駅下車)
 - ◆公開集会 10月22日(土) 14:00 日本教育会館 一ツ橋ホール(東京:神保町駅下車)
 - ◆パレード 救世軍ブラスバンドとタンバリン 10月22日(土) 17:00 東京:神田神保町界隈
 - ◆大会聖別会(礼拝) 10月23日(日) 10:00 日本教育会館 一ツ橋ホール
- 音楽ゲスト-アメリカ西部スタッフ・ソングスターズ(合唱団)

公開集会と大会聖別会には、どなたも参加できます。

集会のご案内